

III 自由意見

自由意見(男女共同参画行政について)

【問 24】最後に、男女共同参画を進めるにあたって、ご意見や要望がありましたらお聞かせください。

1 男女共同参画全般について

- ・ 各個人で価値感が違うので、おのおのの価値感が保たれるような社会になって行ってくれば良いと思います。(60代男性)
- ・ 人間、精神的に同等(平等)だという意識を持つことから始めること。(70歳以上男性)
- ・ 年齢があがればあがる程、多様性を認められていない。それは目・耳にしてないから、アップデートしやすい様に行政に期待したい。(40代女性)
- ・ 話し合いだけに終わらず、実際に人の心に価値感が根をはるまで、たゆまぬ行動をし続け、真に平等な社会を実現して下さい。(40代男性)
- ・ 男と女とは考え方が違うと思いますが、男として子供の頃から弱い者を助け、守る、基本を教えながら育てていかなければ、大人になっても他人の気持ちを理解する事が無理かもしれません。自分だけ良い思いをすればいい、苦労したくない。又、女としても子供の頃から他人に優しく思いやりのある他人の気持ちを理解出来る女性になってほしいと毎日の生活の中で教えていかなければ、自己中心になってしまうと思います。(70歳以上女性)
- ・ 昔からの習慣が根付いているので、一気に意識改革は年代別で無理かと思うが、時間をかけて啓発活動して行くべき。(70歳以上男性)
- ・ 男である女であることを考えて生活をしていないので普通にくらしています。男だから、女だからと区別せず、立場立場によって気楽にしてくらしていく方がよいと思います。(70歳以上男性)
- ・ 差別はダメだけど区別は必要だと思う。体の違いがある以上、完璧な男女平等など無理。職場など仕事や作業を男女平等にすると女性だけ作業量が増える。子育てというものは、体のつくりから考えてやっぱり母親しかできない「授乳」などが出てくるので、無理に平等にすると女性の負担だけが増えると思う。男性は男性が出来る事、女性は女性が出来たことをやるというのが、本当の平等なのではないでしょうか。(20代男性)
- ・ 外国をみならっていけば良いと思う。パートナーシップや男女差別の面は外国の方が進んでいるから。(20代女性)
- ・ 男女共同参画を進めるにあたって、あらゆる年齢層の女性の視点を取り入れるのも一つかと思います。働く世代に限らず、これから社会に出る10代の意見をきくことで新鮮な発見もあるかと思います。
私は女性なので、女性としての目線でしか意見を伝えることができないのですが、災害時などに、ナプキンの無料配布、女性専用のプライベート隔離ルームを設けるなどして頂きたいです。(20代女性)

- 行政の努力が必要。意識の変革は時間がかかる。ペナルティーも必要。(40代男性)
- このアンケート用紙が来るまで、男女共同参画の推進等、一切、自分の意識にありませんでした。PRの方法を変更する(例えば啓蒙ポスターを増やす、広告媒体を見直すのが必要かもしれません。(70歳以上男性)
- 男女共同参画を進める方たちや、企業、職場等のトップや指導者の意識改革、もしくは、世代交代で進むのではないかと思う。函館は職種や職場が少ないので、むずかしいのでは?と思うが、期待もしたい。(50代女性)
- 身近に行っていることに興味・関心を持って、一人一人が参加していることを意識付けることによって、社会活動に繋がると思います。(50代女性)
- このような事を取り上げてみたり、報道したりせず、自然に自由な環境ができ、人々の意識が変われば良いと思う。議論するような事なのかなと思う。(50代女性)
- 自分が中学生の時、クラスの名簿が男子→女子の順番になっていることに疑問を持った。小学校、高校では出席番号が五十音順だったので、なぜ中学校だけ変わったのかが気になった。男女共同参画を進めるために、男女の区別はしない方が良いと思った。(20歳未満男性)
- 男女共同参画に関しては行政と社会(現場)実態にかなりのギャップを感じる。行政はもっと企業に対しての具体的な対策をとるべき。一個人が企業に対して男女共同参画について訴えたとしても企業から干されるだけ。なぜ女性だけの質問ばかりなのですか?男女共同参画なんだから男性のことも考えないと!!女性のことばかり取り組むなら男女共同参画って名前を変えれば?男女共同参画って言って女性のことばかりな時点で女性のことを見下してるように感じる。(30代男性)
- 「男女共同参画」というと、イコール「男女平等」というイメージが強く具体的な施策も、とにかく「平等」「平等」が求められどの数字も男女同数になるようにと進められている。職場内における女性管理職の人員、各種審議会における委員数などには「女性枠」という「特別な枠設定」がなされる。単なる女性優遇策ではないか?確かに不当であったり、不利益を生じさせるような「不平等」は直ちに撤廃するべきであるが、何から何まで平等になればならないことだと思わない。生物学的にも物的な面で「性差」があることは事実であり、男女双方にとっても「向き」「不向き」な面はあることから、お互いに補完し合い、分かち合える社会づくりが本来求められるものと思う。(40代男性)
- 平等・権利・役割と色々な言葉があるが、真の平等とはなんなのか?「権利には義務」が生じるとかをもっと広報した方がよい。(40代男性)
- 難しい問題だ。(70歳以上男性)
- 現代では個人情報と言われ近所との付き合いが希薄だが、虐待や防災など時を考えると少し心配なので、男女共同参画から考えても、人との付き合い方が少し変わった方がよいと思う。(60代男性)
- 男女差別なく、より良い生活が出来たらと思います。(70歳以上男性)

- 個々人が男女の性を理解し尊重した上で、社会全体で男女の別なく活動できる環境を作っていけるよう願います。（60代女性）
- 男、女の格差が大きいので格差をなくしてほしい。（70歳以上女性）
- 子供をもうける時男の子を望む風潮、女の子が産まれた時、がっかりする風潮がなくなればいい。俗に云うフェミニストがあまりにも男性批判や女性の権利を求めすぎて、余計、男性から嫌われる傾向にあるのは残念に思います。女の私からみてもイヤな感じです。まずは夫婦別姓を法律で認められますように。（40代女性）
- 男性と女性は肉体的、精神的に大きな違いがあります。全て同じに物事を進めていくのは無理があります。ひとつ重要なことは、女性は男性を、男性は女性を敬い、尊重し合うことが大切だと考えます。大きな捉え方としては、人として自分以外の人（年齢、性別関係なく）を認め、相手の身になってみれば争い事も起こらなくなりますね。（60代女性）
- 私は、結婚してから後悔することが沢山ありました。夫との結婚生活への不満ではありません。婚齢期以降の女性が生きていくことの難しさや、社会の理不尽を、間の当りにする経験が圧倒的に増えたからです。私の夫は転勤のある仕事で、数年ごとに各地を転々とします。その度に自治体に書類を出し、諸々の手続きを担い、パート先を辞め、新しい職を探し、縁もゆかりもない土地で新しい人間関係を構築し、当たり前のようにこなすその全てが、想像以上に苦痛を伴うものでした。「配偶者の都合で社会から切り離される」孤独や悲しみは、境遇は違えど同じ思いを抱えている女性が多いのではないかと思います。姓を変えること、仕事を辞めたり抑えたりすること、家事をこなすこと、それらが独身だった頃は憧れのように感じていたことは、今思い返しても不思議です。良き妻であることこそが女性の幸せというすり込みのような風潮は私の世代で終わりにしたいです。男だから女だからという雑で短絡的な区別と、根拠のないステレオタイプに基づいた役割に無理矢理押し込めるのではなく、人間として平等に生きていける社会を私たち大人が作っていかなければならないと感じます。これらは全て人権にかかわる問題であると全ての人々が認識するべきです。（20代女性）
- 中学生のとき、行事で代表のあいさつをした際に、担任の教師に「こういうのは男のほうがかっこうつけどなあ、まあいいや、どうぞ」と、言われました。もう15年以上前ですが、教育の現場にそのような発言をする大人がいたことに、大人になり社会人になったとき、とても不快に思いました。子どもが生まれてより、一人ひとり尊重される環境で育てたいと思うようになりました。女性には女性の、男性には男性の、どちらでもない方にもそれぞれ良さがあると思います。男性・女性は体のつくりが違っている、役割が違っているのもので全ての事で同じようにすることは不可能ですが、どちらかが行ってもよい事は女性、男性に関わらずやっつけていける、助けられる世の中にしていけたらいいなと思います。広い所に目を向けると問題や課題が多く見えますが、まずは目の前の自分の子どもに男女共同参画の視点が持てるように接していきたいです。（30代女性）
- 法律等の大きい、基本的な事はもちろんだが、身近で細かい所を見逃さないように取り組んで行かないと結局意味は無いと思うのでそこは大切にしてほしい。（20代男性）
- 時代と共に変化はありますが基本になる事は大切に継続してほしい。（60代女性）

- ・ 「男女共同参画」を広め進めるためには、市民に深く理解してもらう必要があります。一部のアンケートだけでなく、広報・メディア等をフル活用。市議員・民生委員・町内会代表に率先して活動してもらおう。一人でも多くの市民がその意味を理解して行動することで実現する。（70歳以上女性）
- ・ 日本はまだまだ男尊女卑が根強いのこっています。外国にいくと本当に感じます。日本は男性、女性、意識改革してこれからの世界が今までとはちがう事を考えるべきだと思います。（50代女性）
- ・ 日本は遅れた国。各市町村も同じだと考えます。今回の男女共同参画も市民はどのくらい理解しているのでしょうか？もっと推進を強めて市民全員で協力して住みやすい町づくりをしていただきたいと感じています。（40代男性）
- ・ まだ市民に周知されている様で意外とこの言葉を知らない方がたくさんいます。意識を変えて行くには、職場や新聞など地味に広報活動をして、もっともっとみんなの目にふれる機会をお願いします。（50代女性）
- ・ 東京オリンピック・東京パラリンピック競技大会の準備期間中において、女性軽蔑発言等の問題が明るみになり、この国における旧態依然の体質そのものが世界に発信され、大変厳しい批判にさらされました。世界の先進国においては女性の社会進出に積極的に推進しているのに対し、日本の場合、旧態依然の体質が長期にわたって推し進めていたことがあり、男社会の体質が続けてきており、女性の社会にはあまり積極的ではありません。東京オリンピック・東京パラリンピック競技大会を契機に、社会全体が新たな変革が起こり大きな変化が見られ、男性、女性が平等に扱おうと共に、社会参画が推進されていくように、若い世代の人たちに未来や希望が持てるような社会になって頂ければありがたいです。（30代男性）
- ・ 男女共同参画は時代の流れを直視し、迅速に対応する具体策を盛り込み、啓発する事が大切です。（70歳以上男性）
- ・ 何ごとにも平等ばかりに目をうばわれてはいけないと思う。「差別」は良くないが「区別」は必要だと思う。男は男としての力量、考え方などがあり女性には女性の子供には子供の高齢者には高齢者のそれ以外の人たちとと思っている人々にも個々を尊重していくことが大切なのではないだろうか。（50代女性）
- ・ 函館は男女平等が遅れている。地域的なものがあると思うが、もっと格差をなくすべき。（50代男性）
- ・ 男女共同参画と女性重視・優遇の明確な区別を作るべき。政治家、会社役員等の女性比率目標を決めることは女性優遇の制度であり、本当の意味で男女共同参画が推進されると、女性であっても優秀な人材が出てくる。そうすると自ずから女性であっても評価されてくるはずと思う。（50代男性）
- ・ 日本の経済発展のためには、男女の協力が必要かと思います。（40代男性）
- ・ このアンケートをするまで、男だから女だからということを意識せず生活していました。今の学校教育は、男女や障がいなど関係なく教えてくれるので、若い世代の方が受け入れることができ、年配の方の方が差別という言葉に敏感なのかもしれないと思いました。特に介護の項目では、家庭で見る事前提なのもびっくりしました。あたりまえに施設を利用できる世の中になってほしいです。（40代女性）

- 男女共同参画を推進するためには、国として立ちあがり、社会全体で取り組むべきだと考える。そのためにも、システムや環境を構築する事が必要だと思う。(40代男性)
- 国や政治家、上の立場にいる人達が年寄り過ぎて考えが古いし、新しい考えを受け入れようとしない。立ち場が上の人達ら勉強はできても私生活の頭のレベルが低いので、この国が何かを変えるのは無理だと思います。(40代男性)
- 特に不満があるわけでもないのですが、活動を知ることができました。男女が平等に生活できる社会でありますように。(40代男性)
- 子供たちへの教育に尽きると思います。(60代男性)
- 人権尊重の観点から、積極的に取り組んでほしい。(50代男性)
- 男女共同参画に限ったことではありませんが、問題の解決のためには、その問題の存在を広く知ってもらうことが大切だと考えます。自治体が問題に取り組むことは、その点で大きな意味があると思いますので、今後も積極的、継続的な取り組みをお願いします。(20代男性)
- 男、女の問題じゃなくて人としての問題だと思う！！(30代男性)
- 簡単に浸透するものでない。けど、古い考えに固執、縛られていては少子化なども改善しない。自殺に中高年男性が多いのも、共同参画概念が浸透できていないからこそ。女性の方がより生きづらい面は多いけど、苦しんでいる男性がいるのも事実。生まれた時から、『ヒトとして、人間として』という教育が基本的になされれば、性差によらない考え方がもっと一般的になるのにとと思う。少子化、介護、介護人材、自殺、人手不足、地域問題だったり福祉問題だったりするけど、すべての根幹問題は『男女同じ』という感覚を持っていないからと私は思っている。行政施策も大事だけど、もっと子どもに対する教育で対応できれば良いのに、とつくづく思う。でも今後も引き続き行政にも頑張ってもらいたい。(50代女性)
- 女性にしかできないこと、男性にしかできないことというのは大いにあるため、男女共同参画を進める上で慎重に行って欲しい。個々の意識改革も並行して行かないと難しい。(40代男性)
- 男女共同参画を進めるにあたり、女性管理職の割合を数値目標にすること自体が、男女共同参画の趣旨に沿った対応ではないと感じています。基本的には全てにおいて割合を50%にすることを前提として考えない事自体、間違っていることと自覚して欲しいと思います。また、子育て支援について、預かり保育の開始時間が遅いため、働けない家庭も多い現状を考えて改善が必要に思います。
性的マイノリティに対しては、当事者の意見をガス抜きのように聞くだけでなく、意見を実現するという覚悟を持った行政の対応がもとめられていると思います。そうした意味では、函館の行政は積極性が欠けていると感じることが、市民の幸福度の低さからも窺えるのでアンケートをただとって取り組んだような意味のないことにだけならないことを願います。いずれにせよ、市としても覚悟と本気を見せて欲しいと願っています。(50代男性)
- 男女共同参画という言葉自体に、違和感を感じてきています。男女とわけるのではなく、人権の問題として扱い、男女共同参画という名称自体を変更した方が、国民ももっと関心を持ってポジティブに捉えられると感じています。(40代女性)

- すべての問題に対して一般人の知識が少なすぎるゆえ、理解が進まず偏見や間違った解釈に繋がっていると思う。当たり前知識が付き、経験できるよう、学校や各地域、色々な場で、子供の頃からの教育が必要。（40代女性）
- 行きすぎた女性優位にならないような配慮が必要だと思う。また、どんな人にも配慮は必要だが、その内容の精査も必要。（40代女性）
- 男女共同参画について知識が乏しいため、具体的な意見や要望はありませんがどんな事でも得意、不得意が生じてくると思うので、男性だから、女性だからと分けるのではなくて、これからは男女が逆転していても良いかと思います。もちろん、職種によって、, , , となりますが。（50代男性）
- 公共機関に働く人・市議会議員・教職員など男女比が半々になるように制度化する。議員などは半分男性、半分女性などの定員数にすることや、教職員の募集人員も女性を多くする意識、制度が必要かと思います。（40代男性）
- 中高年層の家父長制に基づいた男性優遇の考えは、なかなか変えることが難しいと感じている（当人が全て悪いというよりは、そのような社会環境で育ってきたので仕方ない部分もある）。しかし若い世代は男女平等・LGBTQの権利などにも興味があり、意識が高いと感じる場面が多い。今の子供たちがいずれ親となる世代交代により、人権尊重の意識も高まっていくことが大いに期待できる。大事だと思うのは、子供たちがかかわる多くの場面で、なるべく早い段階から男女共同参画の意識を大切にするような教育を行うこと。保育園・小学校から、社会的性差（ジェンダー）にさらされ、中学・高校での進路選択、その後のライフデザインにも大きく影響を与える。家庭では様々な考えの親や祖父母がいるとしても、学校で過ごすのが多い子供時代、子供たちに身近に関わる教員のジェンダーに関する高い意識が必要。男女共同参画に関する意識調査を、例えば教員や、中高生に課してみても現状をまず把握してはどうか。例）「生徒会長、クラス委員長はどちらかといえば男子が行うべきか」「男女トイレ以外に多目的トイレが必要と思うか」「〇〇くん、〇〇さんという男女別の呼び方は良いと思うか」「男子は理系、女子は文系が多いというのはどう思うか」「夫婦では、男性のほうが多く収入を得るべきか」などなど…、現在の子供たちや教員の意識も調査してほしい。現在の中高年以上の人の意識を全員変えることは難しいので、今の子供たちからきちんと種をまいておくことが、社会を変えていくことに必要だと思っています。（40代女性）
- 男女共同参画についての、アンケートがあるということは、素晴らしいことだと思います。男女は、そもそも性差があり、それにともない役割も違ったりするのは当然。その中での、平等という考え方も多様化しており、難しい問題。永遠のテーマのような課題と感じます。家庭内では、お互いを理解し、お互いに心地よい落としどころで家事育児仕事介護を協力するしかない。ただ、団体、会社、地域、社会と多くの人が集まれば、ルールも必要になり、誰もが納得のいくものは、なかなか難しくなると思う。でも、だれも傷つかないようなルールはできるのかもしれない。アンケートにより、多くの人の意見を集めて、考えてくださりありがとうございます。そんな函館市民であることを誇りに思います。（30代女性）

- 性別にこだわらず、一個人として対応していくこと、そのための知識や交流の場を増やすことも大切なのではないかと思います。まだまだ、性による役割が根強いと感じるため、その壁をいかにして壊すか、または新しい視点をどのように取り入れていくかが課題ではないでしょうか。男性と女性が平等であることよりも、一人一人が平等である社会に目を向けられたら良いのではないかと強く感じます。（20代女性）
- 男女共同参加の実現はとても大切なことです。女性の人権を守ることは当然であると思います。今頃の若い女性は主婦も含め権利ばかり主張してくる人も一部にはいます。特に専業主婦を望んでいながら男女同権平等を理由に、会社帰宅後の夫に夜は家事育児をするのが当然と要求して来る訳のわからない女性も間違いなく存在するので、男女対等な（女性の側ばかり見ないで）観点でのプラン作成を希望します。（60代男性）
- アンケートを記入し始めましたが、高齢者（82才）には意味が理解できない部分が多く、記入をあきらめました。若い人達の声が必要な助言が多いと思います。「男女共同参画」は当然の事と受け取っています。（70歳以上男性）
- 女性・男性にかかわらず、男女が同じものだということではなく、人間としてそれぞれ持っている特質を生かして充実した人生を送ることができ、それがより豊かな社会につながればよいと考える。男女共同参画においては、社会の中で、そうした各個人の特質を生かすための障害となることを、ひとつひとつ取り除いていくことが大切ではないかと考えます。（60代男性）
- 昔に比べたら確かに男女平等な世の中になっているとは思いますが、やはりまだ男性に対しての優遇が感じられます。性別関係なく平等であると言う認識を意識付けさせる制度を充実させ、差別化を無くしていくことで、誰もが暮らしやすい国になるのだと思います。そのために、女性の政治への参加等を促進させるなど、女性が意見できるような場を増やすべきだと思いました。（20歳未満女性）

2 家庭生活について

- 男女共育児はお互い協力して当たり前だと思う。子供は一人で作れる訳ではないので二人で協力すべきです。ジェンダー問題にしては、色んな人が居て当たり前の世界を作ってあげたいですね。理解できる社会を国が作ってあげて下さい。ハラスメントに対しては、受け取る側にも問題があるのでは？何でもかんでもハラスメントと言う言葉は好きになれません。仕事もやりずらいですね。逆に行政ではどう指導していただけるのでしょうか？（20代男性）
- 男だから、女だからという考えは、良くないと思います。特に御飯支度は、お互い働いてきて、女だからっていつも思います。（60代女性）
- 結婚を機に仕事を辞め、専業主婦になりました。夫の仕事柄、長時間労働（夜勤あり）だったので、支えたいという気持ちが強くありました。また、家事、育児への夫の協力はあまり期待出来なかった為、自然と役割分担をして今が在ります。家庭には其々の事情が有りますが、一番大切なのはバランスだと思います。しかし、経験上、家事、育児、介護に関しては、やはり女性の方が向いているように感じます。男女平等はなかなか難しいですが、思いやりを持って、出来るだけ協力し合いながら互いを尊重していけたらと思います。（50代女性）

- 男女とも子育てしやすい環境になってほしい。性犯罪、ストーカーなどの厳罰化も必要。
(30代女性)
- 問4はなぜ食事だけ支度・後片付けが分かれるのでしょうか。ゴミ出しと言っても、各部屋のゴミを一つの袋にまとめて、ゴミを出す事を言っていますか。この書類は、男性が作成されたのでしょうか。(30代男性)
- 育児・家事・介護に関しては、まず長時間労働の問題を改善する必要があると思います。男性が管理職で忙しい、夫が(子供がいても)忙しいと家のことは妻、母にまかせてしまうと思うので。就活は女性優遇だと思いました。(20代女性)
- 子供の一歳半検診のときに、入り口で父は部屋に入れず母と子のみ入室を許可されたことがあった。何も聞かず、母と子のみ中はどうぞと促され、父は入室を拒否された。父も父なりに育児休業を取得しながら育児しているのでとても残念な気持ちとなった。いうのであればパタニティ・ハラスメント。函館市が運営している事業でも男女平等ではないことはある。でもその一方で、ちゃんと父のことも理解してくれる職員もたくさんいる。国民に意識させるためにもよりよい政策が必要となる。頑張ってください。(30代男性)

3 就業について

- 女性として、今後、仕事を続けていくのか育児に専念していくのかまだわからないが、どの選択もしやすいように環境が良くなればいいとおもう。例えば職場では育休産休に入るとなった際に迷惑だと思われない環境を作って欲しい。(20代女性)
- セクハラ、女性参画等の問題点は、企業および自治体のトップ・上層部の関心が薄い、あるいは無いということ。やってる感だけでほとんどが有効な対策を講じていない。指導部がもっと真剣に考え、上から下まで問題を徹底させないと実現は難しいと思う。
(70歳以上女性)
- 私自身、結婚妊娠をきっかけに仕事を辞めて現在まで専業主婦をしています。主人だけの収入で今はまわらせていますが、将来的な事を考え子供達が小学校に就学後は仕事をしようと考えています。しかし現状は就職先を探す所、再就職できたとしてもその後の環境がとても厳しいと思います。私のまわりでも仕事、家事、育児の両立に大変苦労している方達がほとんどです。フルタイムで男性の中でしっかりと働いている方でも子供の体調不良などで早退が続いたとの理由で、正社員から契約社員に降格となりボーナスもなくなったお母さんも現にいらっしゃいます。これはとてもおかしい事だと思います。出産し、その後仕事もするお母さんは特に手厚いサポートをうけるべきです。保育施設の充実はもちろん、家族の協力などは各家庭の問題ですが、職場のサポートは特に大事だと思います。たとえ女性が正社員でもパートでもアルバイトでも男性と同様に。それが難しいのであれば、お母さんが働かなくても良いくらいの手当てを出してほしいです。(片親の方にも)私自身、幼少期は母が専業主婦で学校から帰宅すると、家に母がいてくれた事がとても嬉しかったので、子供達が小さい頃は特になるべくお母さんは子供達のそばにいられる社会が理想だと思っています。(30代女性)

- ・ 働き方改革を進めていただき、介護、子育てができるように時間が欲しいです。(50代女性)
- ・ 今だに男が上女が弱い立場というのはいけません 同じ仕事をしてもらっても給料も待たずもちがうと思います。(20代女性)
- ・ 男性が育児休暇を取る事はまだまだ難しいと思います。休暇を取れる事になっていても現場ではなかなか理解されないのでは？小さい子供がいるお母さんの就職も厳しいですよ。ゆとりのある職場環境になる様、会社側にも働きかけてほしい。(50代女性)
- ・ 職種にもよるかもしれませんが、企業において昇進等の待遇に関する事は、根強く男性優位が現状だと考えています。(50代男性)
- ・ 身近で起きたことで感じたこと、共働きして、子供が幼稚園で熱が出て、休むことになったが…休まなきゃならないのは、女性の方だったり、そんなに休めないからと、親(子供から見た祖父母)に見てもらおう。でも、今の時期コロナなどウィルスが怖いのに免疫がない祖父母は、風邪をひいたり肺炎になったりしました。病気の子供を見られる施設がもっとあったら…など思ったりします。あと職場の理解が足りないと思います。いくら法律で決めたとしても、会社の人、独身で痛みの知らない人は、やはり休まれると嫌な顔します。あと、自分の親は70歳過ぎですが、自分が家庭において子育てしてきたせいか、女は家庭という頭があります。そのような人達の考え方も変えていけたら…と思います。家事とかも女がやるべきと言われてたりしてストレスでした。(40代女性)
- ・ 女性が働くにあたって、職場の理解が、特に男性側の職場の方に必要だと思います。子供がいる場合、保育園から子供の発熱の連絡があれば、迎えに行くために早退、休むのはほとんど母だと思います。父側が休むとなると、休めたとしても、なぜ父親が母じゃないの？となり、休みにくい、言いづらい、そのような空気がまだあります。なぜ母が休むのが当たり前なのでしょう。はっきり言って上司が子育てをしてこない世代だったからだだと思います。正直そんなのはどうでもよく、上司だからこそ今の子育て世代の今の状況を理解して欲しい、意識を変えて欲しいと思います。(30代女性)
- ・ 結婚したら退職もしくはパート職員になる会社が多い。教育機関で働いているが、結婚した女性職員は担任になれず、パートや退職という働きかたになる。法的に問えないものか。市区町村単位で指導を行えないものか。髪色の厳しい規定も、男女ともに差がある。男性は黒髪のみだったり、女性は茶でも可だったり、男女問わず髪色が明るいと言われると評判を落とすなど意味不明の指導が入る、平等ではない。何を着ても何色に染めようとも人の勝手では？そしてそれによりその人の人格が変わるわけではないのにそこまで指定されるのも疑問です。寛容な社会になるような取り組みを行ってほしいです。(20代女性)

4 ワーク・ライフ・バランスについて

- ・ 男性が仕事と家庭・育児と両立したくても職場の理解や育児に協力的な風土が整っていない。整っていたとしても育児＝女の仕事という固定観念からなかなか男性が産休育休制度を取りにくい。古い年代の方や専業主婦の夫の男尊女卑的やモラハラ的な考え方が多く脱却できていない。(30代男性)

5 人権について

- 家庭内でも職場内でも、加害者の意識改革は自発的には無理なので、今以上に積極的な行政の介入が必要だと思います。しかし行政側も一般企業と同様に職場内で難しい場面を抱えていると想像し、大変なのはお互い様だと感じています。長い道のりかもしれませんが、粘り強く活動していけたらと願っています。(50代男性)
- 困った事が起こっても声をあげやすい、発見してもらえる様になれば、全て丸くおさまると思います。(50代女性)
- DVを受けた際(または後日)に逃げ込める場所、被害を受けた妻や子供を保護してくれる場所を知りたいです。(警察署ではない)電話相談がまず第一選択ではなく、本当に困っている時は行動して逃げたいので保護してくれる場所、施設の啓示があればよいと思います。逃げて子供が日常生活をいつも通りに送れるようにしたいです。能力があっても家事育児のために仕事を十分できない現状です。所得制限なく子供の数によって手当を付けるように改善してほしいです。女性も経済力をもてるような社会制度を希望します。(40代女性)
- それぞれの家庭の形はそれぞれの家庭で決めれば良いこと。困っている方の相談窓口は広い方がよいと思う。相談できない程洗脳されている場合に事件に繋がっていることが多いので、行政の役割はむしろそのようなケースをどう見つけ出し、粘り強い対応が行えるかだと思います。(50代男性)
- 力で勝てない無抵抗の弱い女性への暴力は許せない。(40代女性)

6 ハラスメントについて

- 様々なハラスメントに対して何が出来るのか、どの様な対応があるのか周知することが急務なのではと思います。避難所の事も、アンケートで集計しなくてもすぐ出来る事もあると思うし、必要なら、必要な場所でも変えても良いです。(50代女性)
- セクハラ・マタハラ・パラハラよりも総じてパワハラについて議論すべきだと思います。(50代男性)
- 日頃、ニュース等でハラスメントやDV、性的少数者など聞く事はありましたが、パタニティ・ハラスメントは初めての言葉でした。介護の現場では、よく息子さんですか、娘さんでしたかと聞かれるのですが、「ああ、そういう時代になって来たのか」と嫁が義理の両親を介護しなくても良い時代を感じていたここ10年です。色々な事が男女に関係なく自然に行動できる次の時代が続く事を願っています。(60代女性)
- 文章だけではなかなか伝わらない(全くと言っていいほど)。会社、学校へ足を運び、常に情報を取り入れておく必要がある。その場しのぎにならないようにするべき。私の母はとある会社へ就職したがハラスメントで辞めてしまった。そういう方が声をあげられる場所が増え、そういう会社は罰せられるようにならないと直らない。たぶん、今、書いている事も「ただの意見」としてしか見てもらえないと思う。みんなが働きたい、学校へも行きたいと思ってもハラスメント理解者が声をあげないと何も始まらない。(20代男性)

- ・ 1, 以前, 役員として, 会社内での, パラハラ・セクハラ等について, 色々と検討した事が有ります。個々の認職の違い(どこまでが該当するか)を分かる為の基準が必要。逆にパラハラ・セクハラを基に管理職いじめをする人達がいる事も事実。
 2, 利益を求められる一般企業と公務員社会では, 同じ目線で男・女の「ワーク・ライフ・バランス」を考える事は難しい。(60代男性)
- ・ 子供が産まれた時に産休を取りたかったが取れず, 2日しか休みがもらえなかった。古い考えを持つものが上司にいたためである。会社・企業の間にも意識改革, 行政指導をしっかりと行なってもらいたい。こちらは上司に歯向かって仕事がしづらいということが恐怖でできない。(30代男性)
- ・ マタハラに関しては, 特に独身との亀裂が生じやすいと思います。妊娠がわかった時点で有期契約の職員を雇うなどできれば, 急な休みでも, 順調に産休入っても残された職員に大きな負担をかけることなく対応できる気がします。(40代女性)

7 性的少数者について

- ・ 日本は他国にくらべて性に対して差別はないと思います。日本に生まれて良かった。少数意見をひろうのもいいことだけど, それだけってのはやめてほしい。一般的な意見を尊重するのが, 民主主義だと思う。たとえば, 性自認で女性だからとトイレや公共のお風呂に入ることは慎重に考えてほしい。女性からしたらおそろしいことです。それこそ女性を排除する性差別につながると思います。(40代女性)
- ・ 「性的少数者」よりも「LGBT」という表記を目にすることが多い。(40代女性)
- ・ 私自身も性的少数者の当事者です。今は性別変更も終わり自分の望む性で生きています。しかし, ここに来るまで何十年も苦しみ自分が生まれて来た意味までも見失いました。両親と向き合うと泣き, 間違っていると自分と向き合うと体が嫌だ, 社会には受け入れてもらえない, この負の連鎖に幼少期から悩まされてやっといい大人になり自分の1度の人生と向き合って意を決して行動に移せました。今の時代少子高齢化の中で, どうであれ子供達は宝物です。元気に生きていることが大切なんです。時代も今までふたをされ見なかったことにされていた問題がどんどん浮き彫りになる様になりました。人は誰もが平等です。どうか, どんな人にも優しく耳を傾向ける函館市になって欲しいです。そしてどこにもないどの街にもないような, とっぴょうしもない企画をして観光と歴史だけでなく世界から行ってみたい街, 函館になって欲しいと思います。(40代男性)
- ・ 男女共同参画行政の意味がいまいちよくわかりません。男, 女…この[男・女]がもう性的少数者の方々に疎外感をあたえてしまっているような気がします…。(50代女性)
- ・ 変な女性優遇やマイノリティ優遇にならないようにしてほしい。妊娠と出産は女性にしかできないので, 少子化対策の観点からも立ち位置を明確に区別すべき。(50代男性)

8 男女共同参画の視点からの防災・災害時の対応について

- ・ 過去の災害時、支援物資やボランティアの美談ばかり取り上げられていましたが、その中で、何人もの女性が男性に性的暴行を受けていたという話を聞いたので、女性の責任者必要だと思いました。（40代女性）
- ・ 災害時に各地の避難所がテレビで放映されますが、最近は簡易ベッドやプライバシー配慮のパーテーション等人権意識の変化がようやく進んだように思います。函館市の設備はどのようになっているのでしょうか？ 体育館に毛布一枚、雑魚寝用マットはいただけません 男女共同参画にあたっては若い世代の比率が高くなるようにして欲しいです 計画しても実施されるには時間が必要です。10年20年先の函館がより暮らしやすい魅力的な街になることを願っています。（60代女性）
- ・ 災害時避難する所でトイレが大変少なくなるので、市民に携帯トイレを配布しておいた方が良くないかと思う（食事をとるのは簡単、排便が大変）（70歳以上男性）

9 その他

- ・ よりよい社会、住みよい社会の為に進めてほしい！！（20歳未満男性）
- ・ ひとり親家庭への母子・父子への支援サービスや職場への理解などの充実がないため生活しずらいです。16才以上で判明した発達障害児への支援などがあるのかどうかかわからないため、市に相談窓口があるのかどうかかわからない。市民への生活状況の声をきいてほしい。（40代女性）
- ・ 誰かに偏って得をするように変えれば、誰かがかわりに損をする可能性は高いので、様々な点から見て状況に応じて、時には多少妥協するのも大事かと思います。（30代女性）
- ・ まだわからない方がたくさんいると思います。皆にわかってもらうことが先ではないでしょう。（60代女性）
- ・ 生きやすい世の中になってほしい。（40代女性）
- ・ 仕事柄地域の方々、自治会の皆様とコミュニケーションをとり、繋がりを大切にしていますが、今自分の出来ることを続けることがより良い生活をする、地域を共に生きる思いとなっています。小さな頃から地域とのつながりの大切さを教えていくことが大切かと思います。（60代女性）
- ・ 障がい者を一例にすると、障がい者とひとくくりされているなど思うことがありますが、さまざまな障がいがあり、障がい者だから解りあえるかと言えばそうではない事の方が多いと思います。障がい者の数だけサポート内容が違い同じものは無いのです。ひとくくりにしないで欲しい。男女共同参画も、まだまだ今の社会、男女平等でない事の方が多く、理解者がもっと増えなければうまく回っていかないのかな？と思います。要望は今のところありませんが、柔軟な考え方が増えてくれたら嬉しいです。（50代女性）
- ・ 子供・女性を守る為、街灯下の木の枝を切り、路を明るく、女性、子供が安心して歩けるよう、パトロールを行って欲しいです。男女共同参画、被害者を守る為にも、相談しやすい女性責任者での対応できるようにし、罪を償わせ二度と同じ犯罪をしないよう、なくして欲しいと思います。（50代女性）

- 逆のパターンもあるのでよろしくお願いします。いろいろと大変ですが、がんばってください。（40代男性）
- 昔の考えを持ってる人、少し若い人の話しもじっくり聞いてみる。理解しようとしなければいつまでも変わる事ができないと私は思います。（50代女性）
- このアンケートの結果をしっかりと反映させてくれることを期待します。国からの方針でやらされてる状態でないことを祈ります。忙しい中アンケートにまじめに答えている身としては結果を教えてください。（50代男性）
- 無作為に選ぶのであれば、アンケートを返信した人には何かお返しがあると返信率が向上すると思いました。また、問が少し矛盾している所があるのでは？と感じました。（40代男性）
- 自分自身無意識のうちに各設問の様な場面、事例を見過していると感じました。このような調査の必要性が無くなる社会にならなければと思いました。（60代女性）
- このアンケートを収集して、何か前に進む事を願います。男と女の前に人というくくりの中で世の中が動いていけば良いと思います。（40代女性）
- 特に問 24, などの質問、質問文章の意味を理解できない。なぜならば文章が長い。何回も読んでもだいたいしかわからない。（70歳以上女性）
- 男女だったり世代年代によっても意見が違おうと思うのでいろいろな声が集まると良いなと思います。（30代女性）

〈 その他の意見 〉

問7 仕事と家庭についての男性の考え方として、あなたが望ましいと思うのは、どのような考え方ですか。（○は1つ）

- ・ お互いの状況によって
- ・ それぞれの家庭のルールでやれば良い
- ・ 個々の事情による
- ・ 各家庭によると考える、常にコミュニケーションは必要と考える
- ・ それぞれの家庭の事情によって行えばよい
- ・ その家庭それぞれで決めれば良いこと
- ・ その人の人生で重視しているものに向き合えばいい
- ・ 人それぞれどれも OK
- ・ 2人供リタイヤ足腰に不安
- ・ 場面ごとに相談して家庭を築いていける様にする。
- ・ 場合による
- ・ 夫婦で話しあい決めるべきだ
- ・ 各家庭の事情に合わせてやりたいようにやればよい
- ・ 分担制（向いている方）
- ・ その時々によって1であったり2であったり
- ・ どちらとこだわることはないと思う
- ・ 出来る人がやればよい
- ・ 協力し合い、両立するのが理想だが、臨機応変に対応することも大切。
- ・ それぞれが出来る事をやればよいと思う
- ・ 仕事と家庭の両立させるのは非常に難しいので、色々な状況（家庭を持っていると仕事上でのトラブル子供における育児のストレス等に晒されたりする当の状況）に合わせた形での協力・サポートしていくことが男性の立ち位置や考え方として望ましいと思っている。
- ・ 話し合いで決める
- ・ それぞれの家庭で違うと思うので、話し合って決めれば良い
- ・ 男性に家庭を守って欲しい
- ・ お互いが納得いく役割分担でよい
- ・ それぞれ、やりたい様にやる。
- ・ 考え方を固定するのではなく、それぞれの家庭で話し合って家庭に合わせて実施していく
- ・ その都度出来る方ができるときにする

問8 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。

- ・ 本人の希望による（他 18 件）
- ・ 家庭の事情による（他 7 件）
- ・ 人それぞれ自由でいいと思う（他 7 件）
- ・ 本人がそれを出来るか出来ないか
- ・ 夫の収入により状況が変わると思う
- ・ 本人の希望に沿うよう意見を言える環境をつくるべき
- ・ 家庭の事情など生活の変化に夫婦で話し合い、仕事続けるかやめるか…お互いが納得できれば、どっちだって良いと思う。
- ・ 結婚、出産後は仕事を辞めるのではなく。戻って来れる職場の環境を作るべきだと思う

- ・ その時に家庭と家族と相談できれば良いと思う。自分も働く時間や余裕がなかったので出産後は仕事につかなかったが今は仕事をもっている。
- ・ 家庭の状況を考えて仕事を行うことが望ましい
- ・ 子育てしながらも仕事がしやすい工夫を考えた方がよいと思う
- ・ できれば男性と同じように結婚後も仕事のキャリアに差しつかえなく、働けて子どもを持ちたいと思うタイミングで産休を取り、復帰できるのがよいと思う
- ・ 地方では、結婚、出産後仕事を続けたくても環境がととのってないのでむずかしいと思う。
- ・ 基本は1と思うが、6才（子供）位までは母親がそばに居た方がよい。
- ・ 個人に合った働き方をすればよいと思う
- ・ 女性の社会進出が進む中で、女性差別が未だに残っている現状を見ていると男性優遇が根強いこともあり、旧態依然の体質を改善させていくことが喫緊の課題として挙げられている。さらに女性が仕事を持つことは男性優遇から変えるための大きなチャンスでありとてもありがたいことでもある。
- ・ 正社員ではなく、自身の働いている職場環境に合わせて、一時的にパートで働く等変更し、子育てが落ち着いたら正社員で働く等にしたほうが良かったりもします。
- ・ 女性が仕事を持ったからといって上記の選択肢だけを選ばなくてはいけないのは無理
- ・ 家庭環境、状況、考え方、それぞれ臨機応変で仕事をすればよいと思うが、結婚を機に転職を考えた時、これから子どもを産む前提で話をされ面接で落とされたり、パートを進められるのは悔しかった
- ・ 休業制度等を活用して戻れるときに戻ることが良いと思う
- ・ 出産後は仕事を辞め、育児がひと段落した後、経済的な問題や、将来的な事を考えた上で再び仕事に就いた方がよいか、その人自身、夫婦間、家族間で決めればよいと思う
- ・ 本人と家族が納得いくように仕事も、結婚育児も考えればよい。性別に関わらず本人が納得できることが大切なのは。
- ・ 仕事のやる有無は本人の意思次第なので結婚や出産にかかわらず自由にしたらいい
- ・ 仕事を続けたい人は続け、家事・育児に専念したい人は仕事に就かなくてもいいと思う
- ・ 子供を最優先にすることができる環境を整えたうえで続けた方がいいと思う。
- ・ ライフスタイルに合わせて務めるのが良いと思います
- ・ 女性の意思や状況に合わせて決めればよいと思う
- ・ 経済的な面で必要に応じて働くべきとは思うけど、女性自身が働くことで妻や母として家族一人一人との関わりがないがしろになったり、自立することで離婚しやすい環境が出来ているように思う。
- ・ 人によってさまざま選択できる制度が望ましい

問9 女性が仕事を続ける上で、支障となっているもの

- ・ 家事 私は仕事をしていなかったなので協力を認めても長い間は無理なのでその時その時を楽しむ
- ・ 健康・体調面での問題
- ・ 会社側の理解が足りない
- ・ 学童の定員が少ない
- ・ 出産に伴って、仕事に対する熱意が低下している。
- ・ 産休がない
- ・ 自分の意識のもちかた
- ・ 子供が居ると不利みたいなことをいわれる。結婚したら育児休日とかやめるんでしょっていわれる。

- ・ 子の用事での休暇が取りづらい
- ・ 企業の産休、育休制度のとりやすさ（とりにくさ）
- ・ 力の必要な作業(重量物運搬など)
- ・ 仕事でのキャリアを優先するか、出産をするかの選択になりやすい。女性は出産があるので物理的なブランクがさけられず、体力的にもサポートが必要だが保育園に入りにくかったり、出産後も復帰の場所を確保するために色々な無理をすることを考えると結婚をして仕事を続けていても、子どもを持つことへのハードルが高くなり、仕事か、子どもか、という考えになることで結局は育児を優先することになる
- ・ 家族に何かあった時に、会社の方が急な事に対応ができる体制になっていない

問 10 女性が働き続けるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。

- ・ やりたいことを出来るようサポートする（男女関係なく）
- ・ 現状に不満なし
- ・ 全部
- ・ その時、その時で考えれば良いのでは？
- ・ 全て当てはまると思います。
- ・ すでに働き続ける社会になっている
- ・ 女性の考え方による
- ・ 男性の意識改革
- ・ マネーリテラシーの向上
- ・ 子供を産まないという選択
- ・ 男性の育休制度利用の充実と周囲の理解

問 12 「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていない理由は何だと思いますか。

- ・ 現状を改めて見ると…。
- ・ 仕事が好きでないから
- ・ 家庭に持ち帰らないといけない仕事が多い
- ・ 所得の控除が大きく、収入が少なく、生き方の選択がイメージできない
- ・ もっと働きたいが、転勤（夫の）や扶養の上限との兼ね合いで働き方が制限される。
- ・ 社会のあり方が現在ではそこに至っていない、職種により違いがある。
- ・ 職場で、プライベートで同居家族以外との会食禁止などの規則があり、ストレスが解消しづらい。そういったきびしい規則が影響して仕事へのやる気が低迷している。
- ・ そもそもできているかもわからない
- ・ 旦那の理解が全くない（働いていないから全てやるのは当たり前、働いていたとしても自分以上の稼ぎがないなら、全てやるのは当たり前）
- ・ 母が不倫をして家を出て行き、その後父が認知症になり介護に追われ、仕事も辞めなくては、いけなくなり、10年前から私は死んだ様に生きています。自分の老後が不安でしかありません。
- ・ 各自のとくい分野での仕事ができにくい
- ・ 何年も同じ仕事に携わっていますが、やっぱり生活の為に労働している感がある。また、今は義母の介護もあり自分の時間がなかなかとれず、実現できていない！
- ・ 合った仕事ではない
- ・ そもそも無職
- ・ 無職なので
- ・ 現在は難病等を発症していることもあり、昔ほどの人生の各段階に応じた多様な

生き方を選択したり、実現したりすることが難しくなっており、不定期的に病院に通院していることもあり、どちらかと言うと、制限がかかっていると感じることがある。

- ・ ひとり親家庭は子育て支援サービスが充実していないため
- ・ 自分の心に余裕がないため
- ・ 余裕がない
- ・ 体力と精神的問題のため（個人的な理由）
- ・ 職場で仕事をしていても会社内での「いじめ等」があり好きな仕事でも充実出来ない。
- ・ 依然として、時間外やってこそ仕事している認識がある
- ・ 休日が少ない
- ・ 仕事中心にしないと生活できない
- ・ 障害がある為就職がなかなか決まらない
- ・ 給与が安い
- ・ コロナ禍
- ・ 3歳未満でも働かないといけない環境にある場合、どうしても仕事があるときに夕方まで無料で預けられる施設があればいい。申請すれば状況に応じて月何回無料とか。ちいさいうちは保育園に預けて、いつもそばにいれないことや、お金がかかることを考えると、正式に預けることは躊躇してしまう。
- ・ 仕事をしたくない為
- ・ ダブルワークのため心に余裕がない
- ・ 子供の教育費の為
- ・ 選択できるほどの多様な職種がない
- ・ 自分自身に、仕事と家事を両立できる能力が欠けるためどちらかに専念したいが、経済的に困窮してしまうため働かなければならないから。
- ・ 実現するための社会的理解が足りない

問 13 あなたが、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような場合だと思いますか。

- ・ 学校や職場でのいやがらせ、著名人への批判、事件の加害者・被害者家族への対応
- ・ SNS 等、ネットに関するもの（他 1 件）
- ・ 日本人に対する差別（他 1 件）
- ・ 全部（他 2 件）
- ・ よくわからない（他 3 件）
- ・ 貧しい人が虐げられる場合（他 1 件）
- ・ 長時間労働をしたい人がいても一率に休暇をとらせるなど個人の自由を尊重しない制度
- ・ 大人でも「いじめ等」がありそれを会社が知らないふりをしたり対処しない。
- ・ なぜ女性目線だけの項目なんですか？
- ・ 犯罪者の人権が被害者より尊重されている
- ・ 差別的な発言
- ・ 男性の配慮のない言動
- ・ 職場内でのハラスメント（他 1 件）
- ・ その人自体を否定する扱い
- ・ ワンオペの育児家事
- ・ 一部の公務員（役所職員）の人権や法律、憲法への尊重のなさが見られる
- ・ 幼少期の母からの虐待
- ・ 自分自身がセクシャルマイノリティであるため、日々の生活において人権はおろか、存在を認められていない現状。

- ・ 今の流れでいうと、マスクやワクチンを勧める風潮が、していない人への差別に
つかながっている。それぞれの人の意見ではなく、同調圧力で進んでいるように
思えて仕方がない。

**問 14 あなたはこれまでに、あなたの配偶者やパートナーまたは交際相手について、次
のような経験をしたことがありますか。**

- ・ いつも借金をすぐする。妻が何とかしてくれると思っている
- ・ 態度が急変する（急にスイッチが入る）
- ・ 自分では覚えのないところでしている可能性がある
- ・ 父親が母親に暴力をするのを見てきた。自分も医療機関で治療を受けている
- ・ 物を投げられる、かべに穴をあける

**問 16 DV やデート DV について、自分が直接経験したことがあると答えた方にお聞きし
ます。あなたは、誰（どこ）に相談しましたか。**

- ・ 病院 シェルター
- ・ その人の親

**問 17 問 16 でどこにも相談しなかったと答えた方にお聞きします。相談しなかった、
できなかった理由は何ですか。**

- ・ すぐに警察沙汰にして、離婚できたから

**問 19 ハラスメントについて、自分が直接経験したことがあると答えた方にお聞きしま
す。あなたは、誰（どこ）に相談しましたか。**

- ・ 昔の事なので 30 年前
- ・ 上司（他 5 件）
- ・ 職場の相談部門（他 1 件）

問 20 ハラスメントの防止のためには、どのような対策が必要だと考えますか。

- ・ 社会全体の優しい気持ち
- ・ お互いに認めあうこと
- ・ わからない
- ・ 加害者の意識改革がなければいけない
- ・ 自分自身が強くなることと思います。
- ・ 男性の意識改革
- ・ 古い考えを持っている男性への教育
- ・ 職場で働く 1 人 1 人の意識
- ・ 本人の変化と意思
- ・ 小さいうちから学校で学ぶこと（道徳などで）
- ・ 本人がそれがハラスメントだという意識がないため、まずはそこをわかってもら
うところから
- ・ 家庭や学校の子供への教育も多少は必要だと思う
- ・ ハラスメントを指摘した後の周囲の人間関係のケア
- ・ 学校教育の場でハラスメントに関する正しい知識を学ぶ場を充実させる

- ・ 特に昭和世代(男性も女性も)に対する教育
- ・ ハラスメントをした人のカウンセリングに加え，強制的な研修の実施

問 22 性的少数者の方々に対する偏見や差別をなくし，性的少数者の方々が生しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。

- ・ 1～10 まで全部必要なんじゃないでしょうか。足りないくらいだと思います。児童虐待と同じで，色々なケース色々な根深い問題があるんじゃないでしょうか…
- ・ 性的少数者が増えて「当たり前」の状況になる。現状，ニュース等で見聞きしたことがあるのみで，自身の周りに居ない為，リアルに感じられない人が多いと思う。多くの人が「へーそうなんだー」で思考停止していると思う。
- ・ 全て当てはまると思います。（他 1 件）
- ・ 個人の偏見，差別考え方が変わらない限り行政，自治体等が促進，啓発しても何も変わらない
- ・ 性的少数者の方々はどうしたら生活しやすくなるか尋ねる
- ・ 性的少数者の方々直接聞き取りをした方が早いと思います。
- ・ 生活しづらいのを覚悟すべき。
- ・ 悩む人がいることはわかるけど，だからといって，女同士，男同士で結婚をすることを国自体が認めたり，法律で許可することは絶対に反対。本来女性と男性のそれぞれ生まれもった役割がある。男と女のどちらかで生まれてくる，ということに意味があると思う。
- ・ 進んでいると思うが社会の理解成熟
- ・ 右に倣えではなく，個々の生き方を尊重する国，社会になること
- ・ 例えば夫婦別姓や同性婚など法律の改正が必要なものは司法判断が待たれるが（本当は国会が自ら動くべきだが），国の動きを待たずに自治体独自で条例を制定していくことが必要

問 24 防災や災害時の対応において，男女共同参画の視点からどのような対応が必要だと思いますか。

- ・ 防災・災害の程度によって変化すると思う
- ・ 避難所における性犯罪について対策が必要
- ・ 災害時に避難所生活を送らなければなくなったときの，セクシャルマイノリティ（個人及びパートナーも含め）への配慮。

